TOPICS とぴっくす

TOPICS ～in海外～

2012.7.17 外二－18
国際部 内線 3701 3705
011－233-1198

瀋陽駐在員事務所

全運会に向けて、主要通りの建設ラッシュが続く瀋陽市内の様子

2013年の最高峰の大会

今月27日の開幕式を皮切りに、ロンドン五輪がいよいよ始まります。 道内からは、金メダルが期待される女子柔道63キロ級の上野順恵選手（旭川出身）を始め13人もの選手が、最高峰の舞台でホットな戦いを見せてくれるそうです。気になるのは時差。日本とロンドンとの時差は、約8時間。主要な競技は、日本時間の真夜中に行われる為、寝不足で会社に出勤する人も多くなるのではないでしょうか。

さて、ここ中国にはもう一つの最高峰の舞台があります。正式名称「中華人民共和国全国運動会（全運会：ちゅえんゆんふい）」と呼ばれる大会です。これは日本の国民体育大会（いわゆる国体）に相当します。第1回大会が1959年に北京で開催されて以降、4年に一度開かれる本大会は、来年2013年に12回目の大会を、当地瀋陽を中心とする遼寧省で開催致します。大会には、秋に入替りが予想されるトップリーダーが視察に訪れることが決まっており、現在、瀋陽では大会に合わせ急ピッチで関連施設、インフラ等の整備が進められ非常に活気づいています。

中国選手が大いに活躍した北京五輪。 金メダル51個獲得で、2位米国（36個）を大きく引き離し世界一の金メダル獲得国となったのは記憶に新しく、ロンドン五輪でもその活躍が大いに期待されています。世界一の金メダル取得国で開かれる大会は、最高のアスリート達を見ることが出来るもう一つの舞台なのではないでしょうか。

渋川 隆彦

ユジノサハリンスク駐在員事務所

座談会の継続発展に向けた調印式

座談会・交渉風景

邦銀初の座談会開催～in ロシア

今月12日にロシア連邦沿海州ウラジオストク市で、ロシア最大手銀行ズベルバンクと当行との共催で、双方の取引先企業情報交換会が開催された。日本とロシアの銀行が共催で取引先のビジネスマッチングを行うことは初の試みである。

当行の取引先企業8社10名が参加、ロシア側からも30社以上が参加した。午前は参加企業のプレゼンテーション、午後にはディスカッション型式で活発な質疑応答が行われた。日本側からは通関時の手続きの簡素化を要請。ロシア側からの回答で、通関自体は大幅に簡素化している。衛生・検閲関連など制度上許認可を取得しなければならない。日本はこれらの提出書類も混同して、通関が煩雑だと言っていると反論。

今回の座談会で、ウラジオストクの企業並びに住民にとって、日本と言えば東京、大阪、鳥取の知名度が高い。北海道については、同市と同じ北緯４３度に位置しながら、殆ど情報が無く、認識も低いと言う事が分かった。参加した旅行業社が「北海道に行きたいと思うか？」の質問に対し、「北海道には何があるのか？どうすれば行けるのか？」など、沿海州地域と北海道の接点は薄く、まだまだ未開の地であり、積極的にＰＲ活動を徹底すればビジネスチャンスが大いに期待できるものと確信した。

（写真上段は当行（左）、ズベルバンク（中央）、ロシアの柱（全ロシア中小企業団体）（右）～座談会の継続発展に向けた調印式）

三上 訓人